

第1回ビスタセーレ向陽台団地温湿度計測報告書

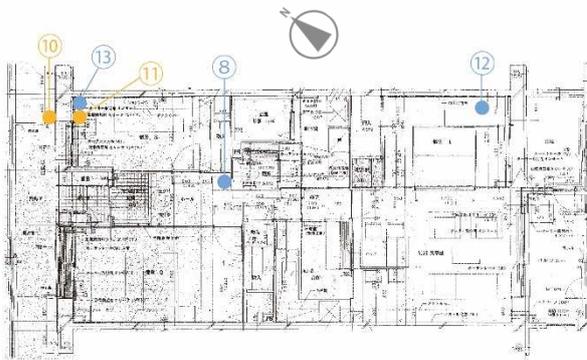
株式会社高本コーポレーション
 担当：高本
 連絡先：03-6915-4708

ビスタセーレ向陽台団地第2回大規模修繕工事では大変お世話になりました。
 外断熱改修後の温湿度計測結果を下記ご報告申し上げます。

記

計測期間：2021.1.1～2021.1.27

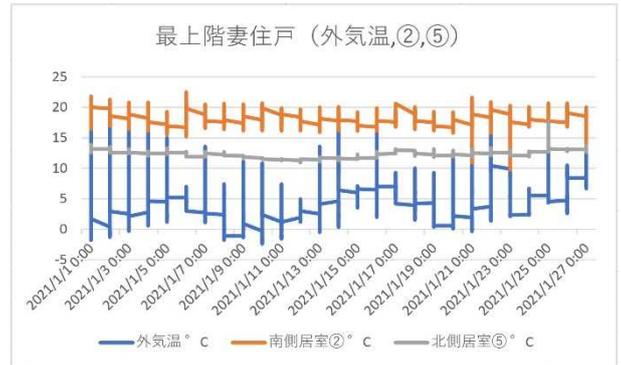
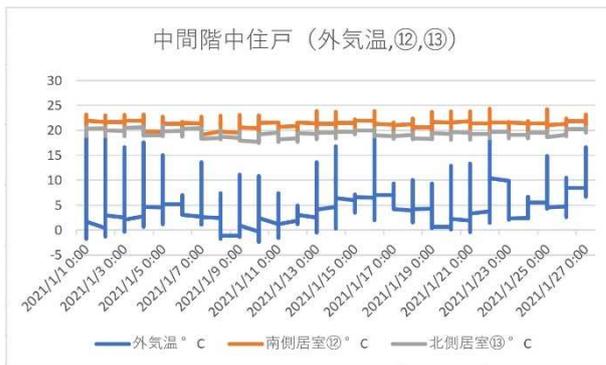
湿度の解析は困難なので、この度の報告では温度のみの報告とさせていただきます。



1号棟 205 / 中間階 中住戸 ● 温度計 ● 温湿度計



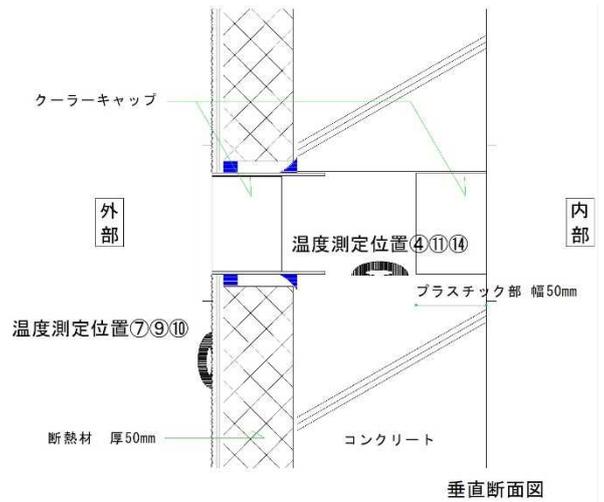
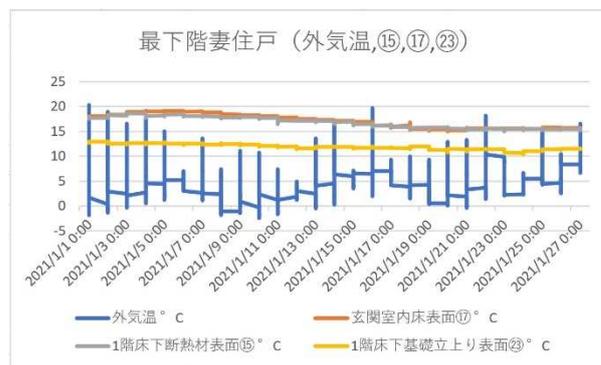
3号棟 604 / 最上階 妻住戸 ● 温度計 ● 温湿度計





6号棟 103 / 最下階 妻住戸 ● 温度計 ● 温湿度計

使用機種： ティアンドデイ社製
 データローガー RTR-502L,503L
 データ取得： 記録間隔 30 分毎



垂直断面図

壁外部表面温度及び壁内部表面温度測定位置



1階床下断熱材表面⑮



1階床下基礎立上り表面⑳
 (間仕切り壁基礎)

1月の外気温は、-2.4~20.3℃の振れ幅で推移しており、1日の寒暖差が10~20℃となる日が多い。外断熱を施した躯体温度は室温に同調しており、外気温の大きな振れ幅に対して1日の温度差は3℃以内とほぼ一定である。室温も、暖房を行っている部屋と行っていない部屋の温度差は最大5℃程度であり、暖房を行っていない部屋の1日の寒暖差は1℃程度と、ほぼ一定している。

1階床下断熱材表面温度⑮と玄関室内床表面温度⑰の温度差は0.5~1℃程度である。これは、1階床下空間の換気量が小さく、地熱の影響もあって外気温に比べて気温が高く寒暖差が小さいことが影響しているものと推察する。しかしながら、1階床下断熱材表面温度⑮と間仕切り壁床下基礎立上り表面温度⑳との温度差が5℃程度あることは、1階床下に施した断熱材の効果に由るものとも考えられる。

以上